

2025 年 10 月 14 日

各 位

上場会社名 日本カーボン株式会社
代表者 代表取締役社長 宮下 尚史
(コード番号: 5302 東証プライム市場)

富山工場火災事故についてのお知らせ(第4報)

2025 年 8 月 29 日(金)に発生いたしました弊社の富山工場(富山県富山市)構内の火災について現時点(2025 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分)の情報を下記の通り取りまとめましたのでお知らせいたします。

改めまして、地域住民の皆様、お取引先様、株主・投資家の皆様、関係機関の皆様をはじめ、多くの方々にご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

記

1. 富山工場の概要

弊社の富山工場の概要は次のとおりです。

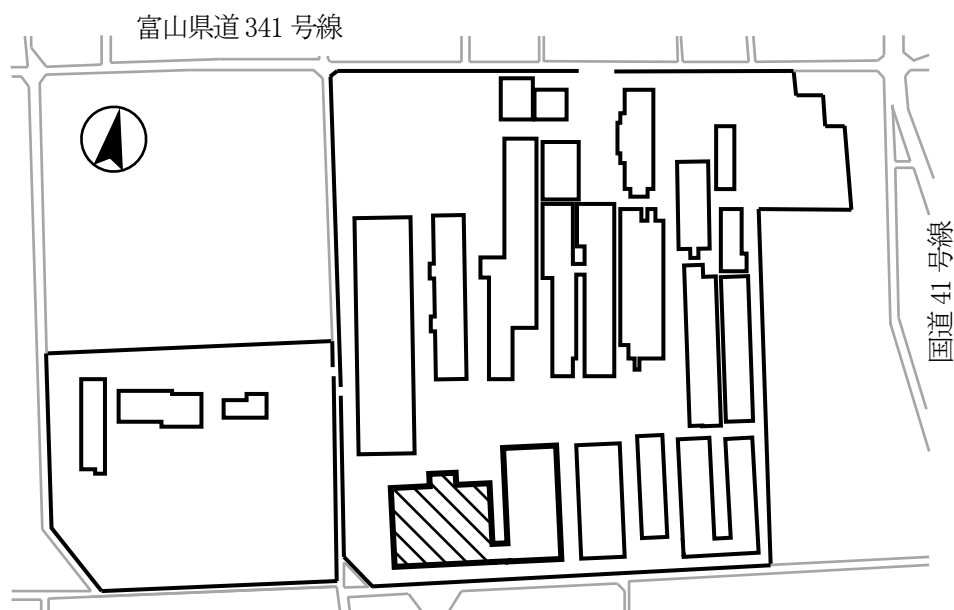
- (1) 所在地 : 富山県富山市高内 27
- (2) 総敷地面積 : 233, 121 m²
- (3) 生産品目 : 人造黒鉛電極、リチウムイオン電池負極材 ほか

2. 火災の概要

2-1. 発生日時と場所

2025 年 8 月 29 日(金)午前 7 時 15 分頃、人造黒鉛電極の製造工程で使用する黒鉛化炉設備(下図の斜線部)で爆発音とともに火災が発生しました。消防の方々に消火活動を行っていただき、8 月 31 日(日)午後 4 時に鎮火が宣言されました。

図1: 弊社富山工場構内の建物配置図



2-2. 被害状況

幸いにも、周辺地域の方々および弊社工場の従業員ともに人的被害はございませんでした。また、近隣住宅等への類焼もございませんでした。

火災が発生した建屋のべ床面積は 10,907.45 m²であり、消防の発表によると、そのうち焼損床面積は 4,440.32 m²(半焼)でした。なお、焼損床面積は、当初発表の 4,644.9 m²から変更されています。

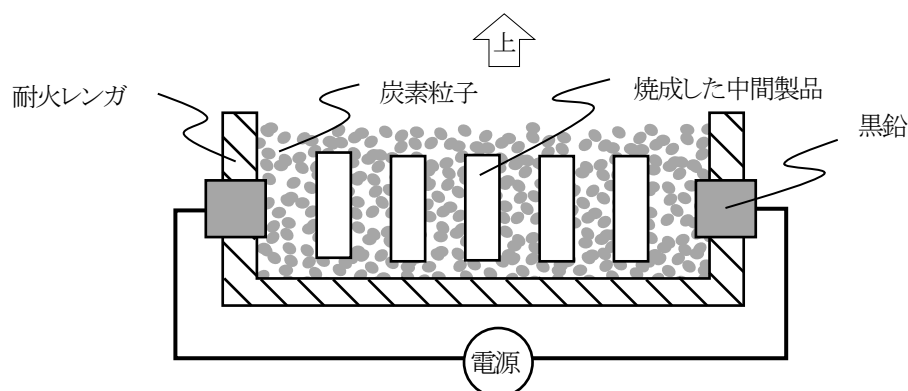
3. 人造黒鉛電極について

人造黒鉛電極は、電気製鋼において鉄スクラップをリサイクルする際、アークを発生させる製鋼用電極として使用されています。

人造黒鉛電極の主要な製造工程は、工程の順に次の通りです。

- ① 成形： コークス（石炭または石油の重質油を蒸し焼きにし、炭素分を約99%以上にしたもの）とピッチ（石炭からつくられる樹脂）とを練り混ぜたものを、円柱形状（最大直径80cm、最大長さ3m）に加工します。
- ② 焼成： 成形した中間製品を約1,000℃で蒸し焼きにし、ピッチを炭化します。
- ③ 黒鉛化： 焼成した中間製品を約3,000℃で熱処理し、炭素の結晶を成長させて黒鉛にします。黒鉛化処理は、炉内に配置した中間製品の周囲に炭素粒子を充填し、この炭素粒子に大電流を流すことで、炭素粒子を3,000℃以上に発熱させて行います。

図2：黒鉛化処理時の炉内断面概要図



4. 火災の現象

火災発生の際は、次の現象が起きたものと認識をしています。

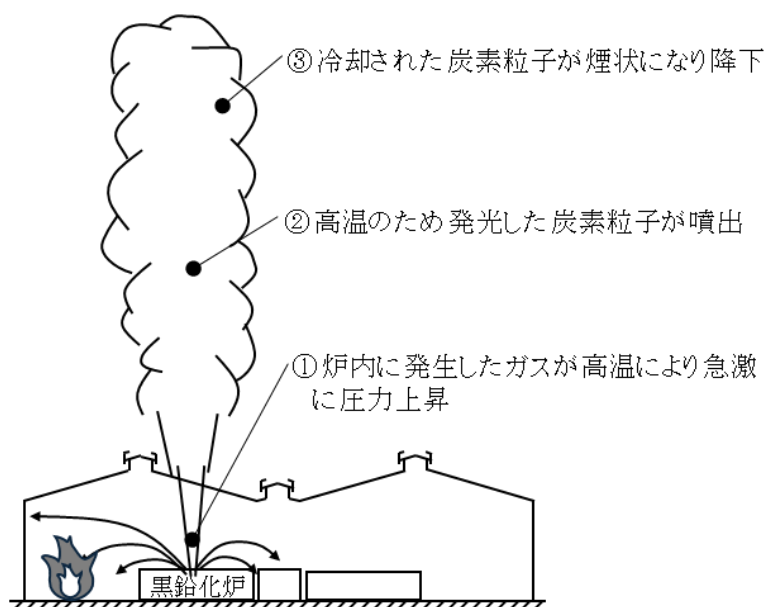
まず、黒鉛化処理の過程で、炉内に発生したガスが高温により急激に圧力上昇し、その影響で高温の炭素粒子が炉外へ急速に噴出したと考えられます。なお、ガス発生の原因は現在も調査中です。

次に、圧力上昇に伴う衝撃により、建物の屋根や窓ガラスが破損し、極めて高温のため発光した炭素粒子が屋根から噴出しました。

そして、当該噴出した炭素粒子は、高温のため酸化により消滅、あるいは空気中で冷却され煙のように見えた後、地上に降下しました。また、建物内に飛散した高温の炭素粒子が、建物内の可燃物を燃焼させました。

なお、炭素粒子は基本的に木炭などと同じ炭素成分で構成されており、化学的に安定しています。水に溶けたり、人体や植物に吸収されたりすることはありません。食品や医薬品などにも炭素素材が利用されているように、毒性や危険性はありません。

図3：黒鉛化炉設備で起きた現象の模式図



5. 今後の対応について

5-1. 相談窓口

周辺地域の皆様に向けた相談窓口の設置を継続しております。事故に関するご不安やご質問に、引き続き真摯に対応して参ります。

【電話窓口】 076-467-2291（平日 9：00～16：30）

【E-mail】 20250829kasai@carbon.co.jp

5-2. 原因究明

現在、消防機関による実況見分が完了した段階にあり、今後、消防機関の指導のもと事故の原因究明と再発防止に全力で取り組んでまいります。

5-3. 業績への影響

火災の発生した黒鉛化炉設備の復旧は相当程度の期間を要すると思われませんが、人造黒鉛電極のサプライチェーンへの影響は他生産設備の活用等により極めて限定的と考えております。

損害・損失の金額は現在算定中です。また、今後の業績に重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

以 上

<本件に関する問い合わせ先>

日本カーボン株式会社

業務統括部 業務管理課

電 話：03-6891-3732